

## 第 59 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)	ミカムロ/ミカルデイス	中外製薬 (株)	ペガシス 他
第一三共 (株)	オルメテック/レザルタス	エーザイ (株)	パリエット
グラクソ・スミスクライン(株)	パキシル	(株) ジェイ・エム・エス	
興和創薬 (株)	リバロ	大塚製薬 (株)	ムコスタ
(株) 大塚製薬工場	エルネオパ	塩野義製薬 (株)	サインバルタ
シーメンス・ジャパン (株)	LUMINOS session	大鵬薬品工業 (株)	アロキシ
武田薬品工業 (株)	プロプレス 他	田辺三菱製薬 (株)	タリオン
(株) ツムラ	六君子湯	(株) ヤクルト本社	カンプト 他

(ABC 順)

## 編集委員会

編集長：並 木 温

編集委員：金 子 弘 真 佐 地 勉 杉 山 篤

周 郷 延 雄 高 橋 寛 高 橋 啓

津 熊 久 幸 瓜 田 純 久 (ABC 順)

## 編集後記

研究や教育の現場で、“統計学は難しい”という声をよく耳にする。統計学的な解析手法の利用は、主観を排し、客観的な結論を導くために必要となり、実験・観察を繰り返す研究者は避けて通るわけにはいかないであろう。

医学研究のみならず、さまざまな学術分野で利用される統計的仮説検定法の 1 つに、 $t$  検定がある。データの状況に応じて改良も加えられ、Welch の  $t$  検定、順位和検定などが提案されており、統計解析のソフトウェアにも実装されている。また、 $t$  検定は相関分析や回帰分析にも現れ、応用範囲は非常に広い。

$t$  検定という名は、その検定の基礎となる確率分布が  $t$  分布であることに由来する。この  $t$  分布は、測定による誤差をどのように見積もるかを、理論的に考察する過程で発見された。今から 100 年ほど前の 1908 年に、英国の、ギネスブックでも有名なギネス社の技師である Gosset WS によって導入されたのが最初である。 $t$  分布はしばしば“Student の  $t$  分布”と呼ばれるが、Gosset が発表した論文で著者名を Student というペンネームにしたことによる。これはギネス社が本名を出すことに反対したためであるが、今日では Gosset の名より Student の名のほうが市民権を得ている。

19 世紀までの統計学は、理論的・数学的な裏付けが弱く、直感に頼るところが大きかった。しかし、 $t$  分布の発

見の後、データがしたがう精密な確率分布の研究が活発になり、 $t$  検定や分散分析などの統計的仮説検定法が編み出される。そして、20 世紀の中ごろまでには、推測統計学に関する理論体系の、一応の完成をみるのである。

上で述べてきたように、 $t$  分布の発見は統計学の歴史の中では記念碑的な立場にある。今後もいろいろな統計的手法が開発されると思われるが、 $t$  分布や  $t$  検定ほど統計学の発展に刺激を与えるものは生まれまいであろう。

$t$  検定にまつわる歴史について簡単に触れてみたが、少しでも統計学に対して親近感を抱いていただければ幸いである。

(津熊久幸)

## 東邦医学会雑誌 第 59 巻 第 5 号

平成 24 年 9 月 1 日発行

編集兼  
発行人 並 木 温〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎